

# 境川・猿渡川流域水害対策計画 モニタリング資料

令和5年4月

## 令和4年度 境川・猿渡川流域水害対策計画のモニタリング調査結果

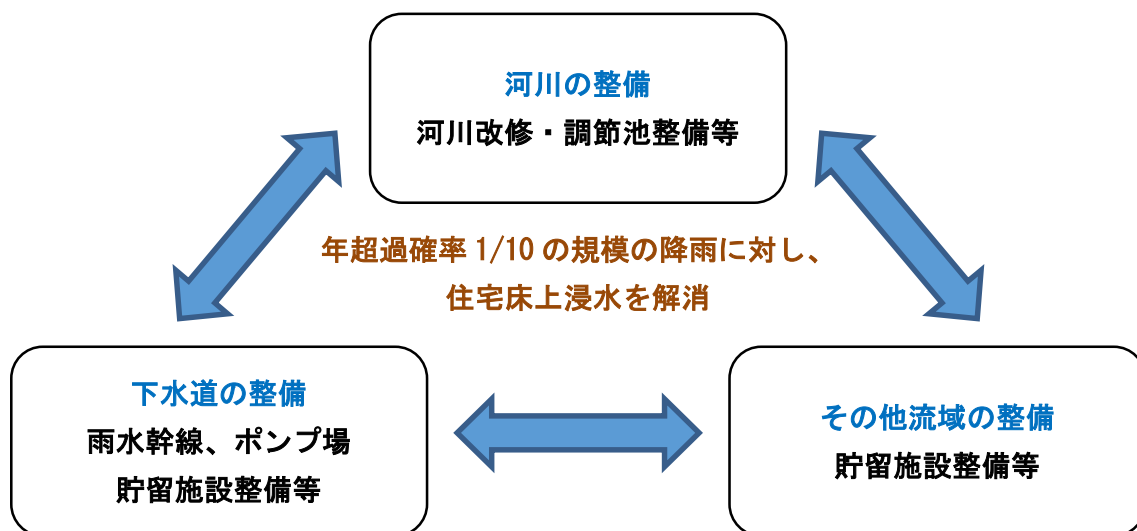
### 1 モニタリング

#### ○特定都市河川浸水被害対策法の適用

境川・猿渡川流域では、昭和30年代後半からの市街化の進展に伴う、流域の保水・遊水機能の低下や洪水流出量の増大により、水害の危険性が増大した。これまで河川整備や総合的な治水対策に取り組んできたものの、平成12年9月の東海豪雨において甚大な浸水被害が生じた。そこで、総合的な治水対策をより確実に展開するため、特定都市河川浸水被害対策法を適用し、平成26年3月に河川管理者、下水道管理者、及び流域市町が共同で「境川・猿渡川流域水害対策計画」を策定し、今後さらに流域での連携を強化し、効率的な浸水被害対策に取り組んでいる。

#### ○流域水害対策計画の目的

境川・猿渡川流域水害対策計画は、概ね30年間で年超過確率1/10の規模の降雨に対し、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）を解消することを目的とする。



#### ○モニタリング調査結果のとりまとめ

境川・猿渡川流域水害対策計画では、各施策の進捗状況等を把握し、関連事業間の連携やその実効性の確認のため、モニタリング調査を実施し、公表することとしている。

今回は、令和4年度分のモニタリング調査結果をとりまとめた。

## 2 令和4年度の出水状況まとめ

令和4年度は、以下のとおり水防警報、洪水予報、水位情報が発表された。

### ○水防警報

水系名	河川名	観測所名	発表種別	発表日時	水位
境川	境川	泉田	準備(T.P.3.85m)	5/27 2:30	3.88m
			情報(T.P.3.85m)	5/27 8:00	3.40m
			解除 (T.P.3.1m)	5/27 8:25	3.07m
		泉田	準備(T.P.3.85m)	7/15 1:25	3.92m
			情報(T.P.3.85m)	7/15 1:40	3.75m
			解除 (T.P.3.1m)	7/15 3:10	3.09m
		泉田	準備(T.P.3.85m)	9/23 17:02	3.89m
			解除 (T.P.3.1m)	9/24 0:20	3.07m
		逢妻川	一ツ木逢妻川	準備(T.P.3.35m)	5/27 2:30
	情報(T.P.3.35m)			5/27 8:00	3.29m
	解除(T.P.2.70m)			5/27 9:06	2.64m
	一ツ木逢妻川		準備(T.P.3.35m)	7/27 2:55	3.56m
			情報(T.P.3.35m)	7/27 4:40	3.23m
			解除(T.P.2.70m)	7/27 6:25	2.66m
	一ツ木逢妻川		準備(T.P.3.35m)	9/23 16:25	3.38m
			出動(T.P.3.90m)	9/23 18:50	3.91m
			解除(T.P.2.70m)	9/24 1:10	2.68m

### ○洪水予報（洪水予報河川）

水系名	河川名	観測所名	発表種別	発表日時	水位
境川	境川	泉田	氾濫注意情報 (T.P.3.85m)	5/27 2:30	3.88m
			解除 (T.P.3.85m)	5/27 8:00	3.40m
		泉田	氾濫注意情報 (T.P.3.85m)	7/15 0:40	3.92m
			解除 (T.P.3.85m)	7/15 2:20	3.50m
		泉田	氾濫注意情報 (T.P.3.85m)	8/25 22:00	-
			解除 (T.P.3.85m)	8/26 0:10	-
		泉田	氾濫注意情報 (T.P.3.85m)	9/23 17:20	3.87m
			解除 (T.P.3.85m)	9/23 23:15	3.65m

水系名	河川名	観測所名	発表種別	発表日時	水位
	逢妻川	一ツ木逢妻川	氾濫注意情報 (T.P.3.35m)	5/27 2:30	3.40m
			解除 (T.P.3.35m)	5/27 8:00	3.29m
	一ツ木逢妻川	氾濫注意情報 (T.P.3.35m)	7/27 2:40	3.39m	
		解除 (T.P.3.35m)	7/27 4:40	3.29m	
	一ツ木逢妻川	氾濫注意情報 (T.P.3.35m)	9/23 16:40	3.38m	
		解除 (T.P.3.35m)	9/24 0:10	3.28m	

○水位情報（水位周知河川）

河川名	基準地点	区間	指定日	発表状況(令和4年度)	
				避難判断 水位到達情報	氾濫危険 水位到達情報
猿渡川	猿渡川	八ツ田橋 ～河口	H21.6.1	R4.7.27 1:36	—
逢妻女川	千足	布袋子川 ～逢妻川	H20.6.1	—	—

上記の情報は、関係する市町が避難指示等を発令する判断の参考となる。

<避難情報に関する警戒レベル>

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである  
 (注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

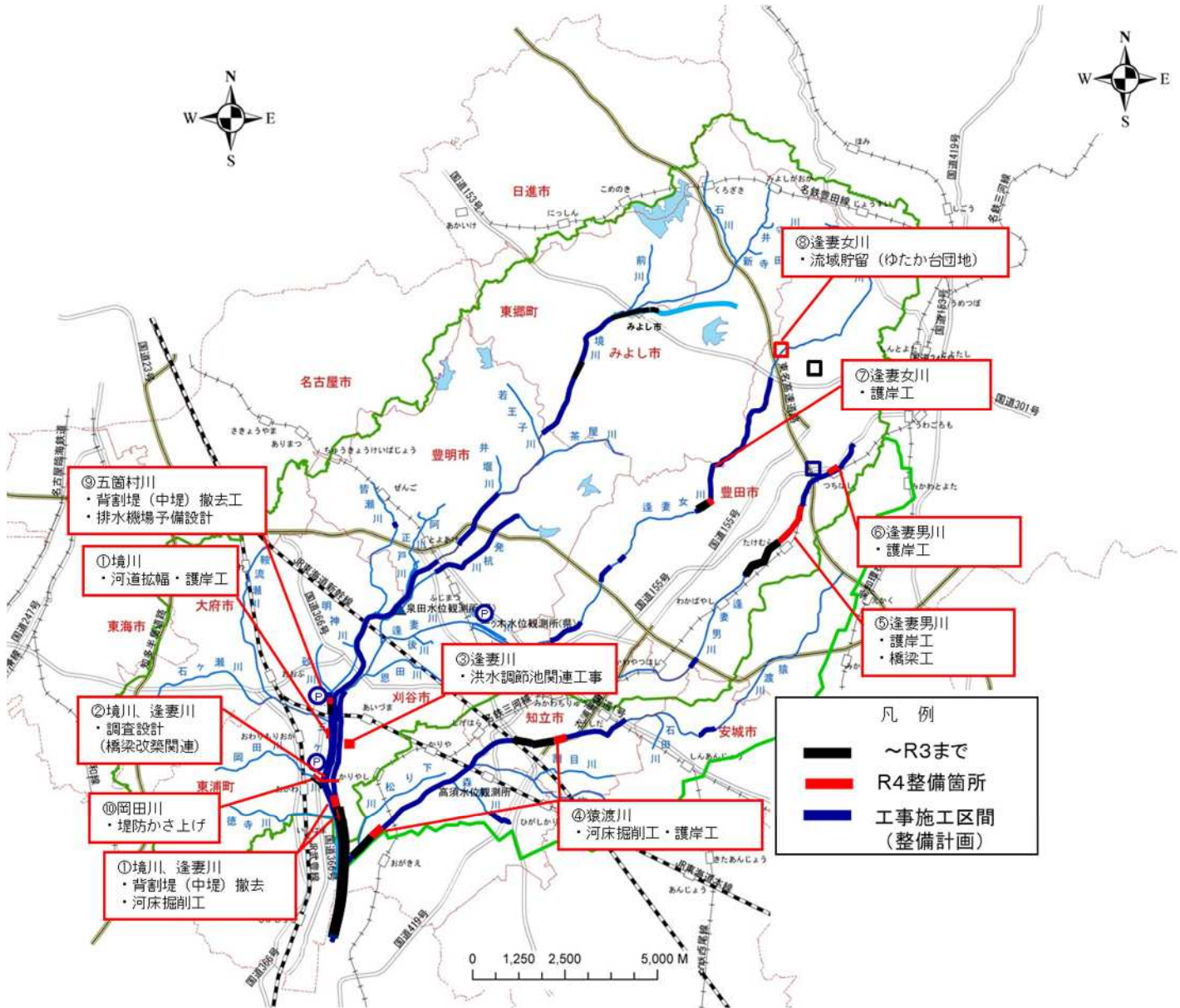
出典：避難情報に関するガイドライン(令和3年5月10日公表)  
 内閣府政策統括官(防災担当)

なお、境川・猿渡川流域排水調整要綱に規定する排水停止水位には達せず、年間を通じて浸水被害の発生はなかった。

### 3. 各事業の進捗状況

#### (1) 河川事業

○令和4年度の河川事業の実施状況



主な箇所の当面の整備内容

①②境川、逢妻川	川底の掘り下げや拡幅、背割堤(中堤)の撤去により、流下能力を向上させます。また、改修の支障となる(主)名古屋碧南線の橋の架け替えに必要な調査設計等を行います。
③逢妻川	洪水調節池を整備します。
④猿渡川	川底を掘り下げ、流下能力を向上させます。
⑤⑥逢妻男川	川幅を広げ、流下能力を向上させます。また、上流部では、豊田市の区画整理事業と連携した整備を行います。
⑦⑧逢妻女川	川幅を広げ、流下能力を向上させます。また、豊田市が流域貯留浸透施設を整備します。
⑨五箇村川	流下能力を向上させるため、中流部で背割堤(中堤)を撤去します。
⑩岡田川	高潮対策のため、堤防のかさ上げを行います。

令和4年度の河川事業の実施状況

	<p>①境川・逢妻川： 背割堤（中堤）撤去状況</p>
	<p>③逢妻川：洪水調節池 （排水樋管 実施状況）</p>
	<p>④猿渡川：河床掘削実施状況 （弘法橋上流部 実施状況）</p>

■ : 令和4年度対象箇所  
■ : 令和3年度までの対象箇所



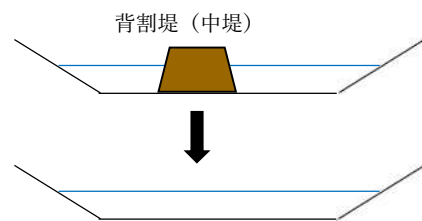
⑤逢妻男川：護岸工実施状況  
(逢初橋下流)



⑦逢妻女川：護岸工実施状況  
(松竹橋付近)



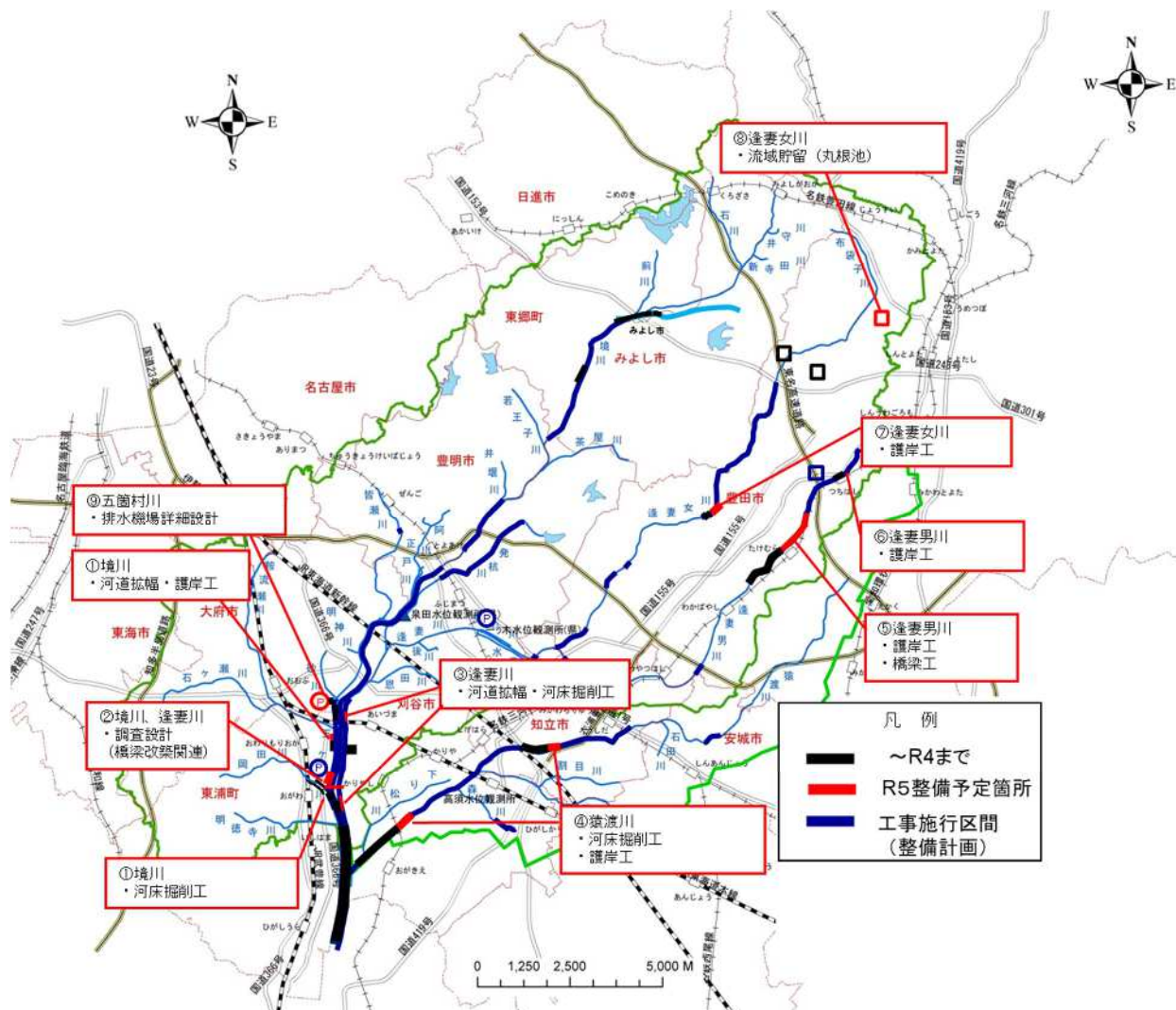
⑨五箇村川：  
背割堤（中堤）撤去実施状況



中堤の撤去により河川断面が拡大

: 令和4年度対象箇所  
 : 令和3年度までの対象箇所

○令和5年度の河川事業の整備予定



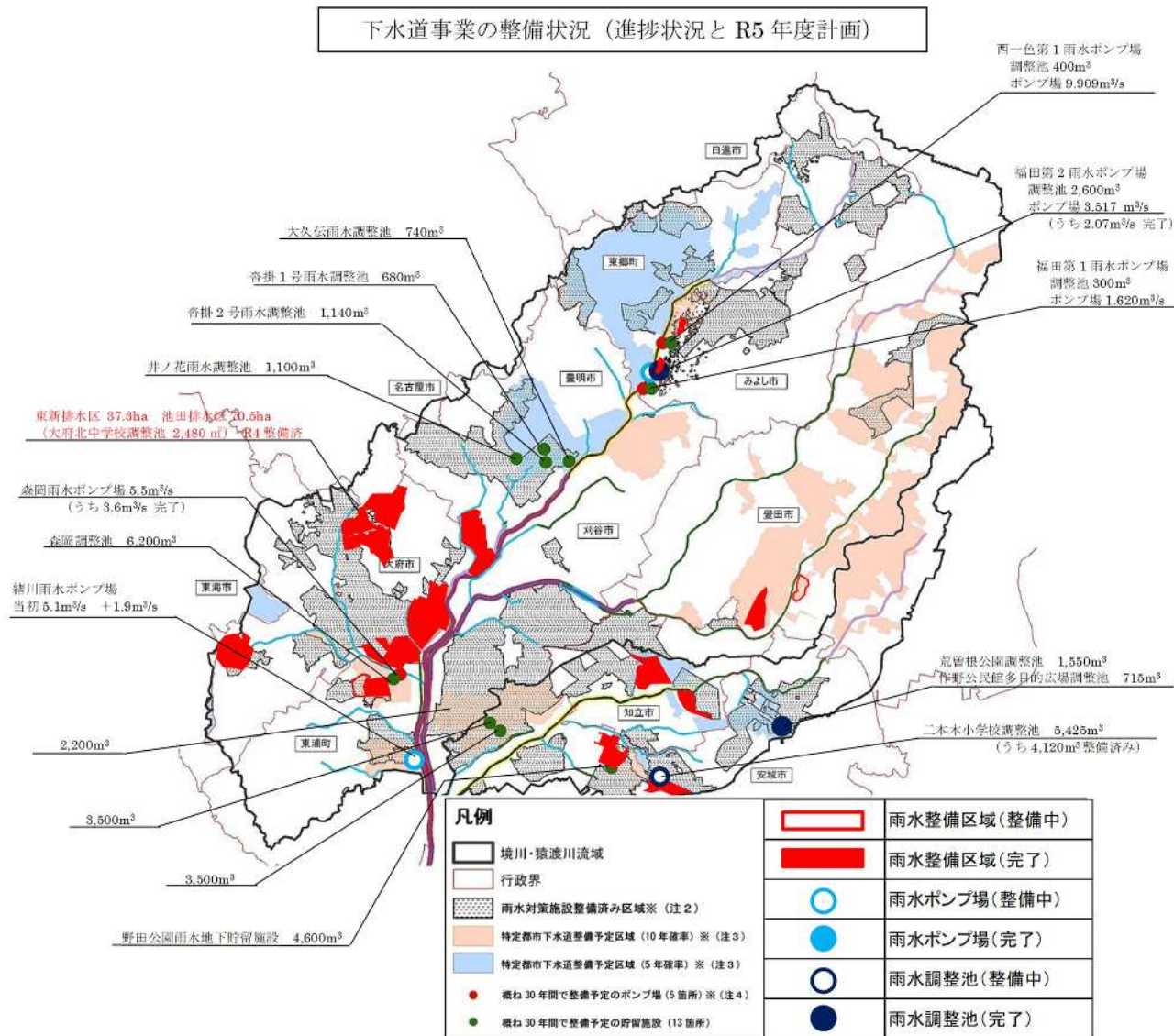
主な箇所の当面の整備内容

①②境川、逢妻川	川底の掘り下げや拡幅により、流下能力を向上させます。また、改修の支障となる(主)名古屋碧南線の橋の架け替えに必要な調査設計等を行います。
③逢妻川	川底の掘り下げや拡幅により、流下能力を向上させます。
④猿渡川	川底の掘り下げや拡幅により、流下能力を向上させます。
⑤⑥逢妻男川	川幅を広げ、流下能力を向上させます。
⑦⑧逢妻女川	川幅を広げ、流下能力を向上させます。 また、豊田市が流域貯留浸透施設を整備します。
⑨五箇村川	排水機場の新設に向けて、調査、設計を行います。



## (2) 下水道事業

### ○境川・猿渡川流域下水道事業の進捗と令和5年度の整備予定



※(注2) 「雨水対策施設整備済み区域」は年超過確率 1/5 の規模の降雨が発生した場合の平成 23 年度末時点の整備済み区域を示す。

※(注3) 市町の雨水排水は、下水道（公共下水道や都市下水路）のほか、市町が管理する法定外水路、農業用排水路などによって行われている。「特定都市下水道整備予定区域」は、概ね 30 年の間にこれらの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を現在よりも向上させる区域を示す。特定都市下水道整備予定区域には、施設の機能向上に伴う再整備を含む。

※(注4) 「整備予定のポンプ場」における「整備予定」とは、ポンプの増設を含むものとする。

○特定都市下水道の整備状況

	雨水整備区域※1				下水道調整池※2				下水道雨水ポンプ場※2			
	整備 予定面積 (ha)	R4年度 整備面積 (ha)	R4年度末 整備面積 (ha)	整備 進捗率 (%)	整備 予定容量 (m3)	R4年度 整備容量 (m3)	R4年度末 整備容量 (m3)	整備 進捗率 (%)	整備予定 排水能力 (m3/s)	R4年度 整備 排水能力 (m3/s)	R4年度末 整備 排水能力 (m3/s)	整備 進捗率 (%)
	A1	-	B1	B1/A1	A2	-	B2	B2/A2	A3	-	B3	B3/A3
名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
刈谷市	545	0	75.6	13.9%	13,800	0	4,600	33.3%	-	-	-	-
豊田市	895	0	41	4.6%	-	-	-	-	-	-	-	-
安城市	190	0	30.3	15.9%	7,690	0	6,385	83.0%	-	-	-	-
東海市	67	0	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
大府市	238	107.8	336.8	141.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
知立市	168	0	123	73.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
豊明市	269	0	0	0.0%	3,670	0	0	0.0%	-	-	-	-
日進市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
みよし市	43	0	7	16.3%	1,400	0	2,600	185.7%	15.1	0	2.07	13.7%
東郷町	564	0	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
東浦町	193	0	28	14.5%	6,200	0	6,200	100.0%	5.5	0	3.6	65.5%
合計	3,172	107.8	641.7	20.2%	32,760	0	19,785	60.4%	20.6	0	5.67	27.5%

※「雨水整備区域」、「下水道調整池」、「下水道雨水ポンプ場」の各整備予定量は、流域水害対策計画に定めた年度から概ね30年間の整備予定量です。

※1雨水整備区域の「整備面積」は、下水道（公共下水道や都市下水路）や市町が管理する法定外水路及び農業用排水路などの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を向上させた区域面積を示します。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、雨水調整池や雨水ポンプ場など流末の整備状況により異なります。

※2下水道調整池の「整備容量」及び下水道雨水ポンプ場の「整備排水能力」は施設それ自体の整備量を表しています。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、施設が受け持つ区域内の管路の整備状況により異なります。

(3) 準用河川等の整備

市町が管理する準用河川について、本川の整備と連携して整備を進めている。

	市町名	延長等	主な工事内容	進捗状況
準用河川草野川	刈谷市	L=0.2km 排水機+2.0m <sup>3</sup> /s	河道改修 排水機場能力増強	L=0.460km改修済み R4整備:遮水矢板打設
村前地区排水整備	大府市	排水区域13.0ha	調整池新設 排水機場新設等	未定
準用河川茶屋川	みよし市	L=1.3km	河道改修	整備済み延長 L=579.75m(内、推進工24m) R4整備:延長 L=14.55m
大東地区排水整備	大府市	排水区域63.0ha	排水路整備等	R4基本設計実施

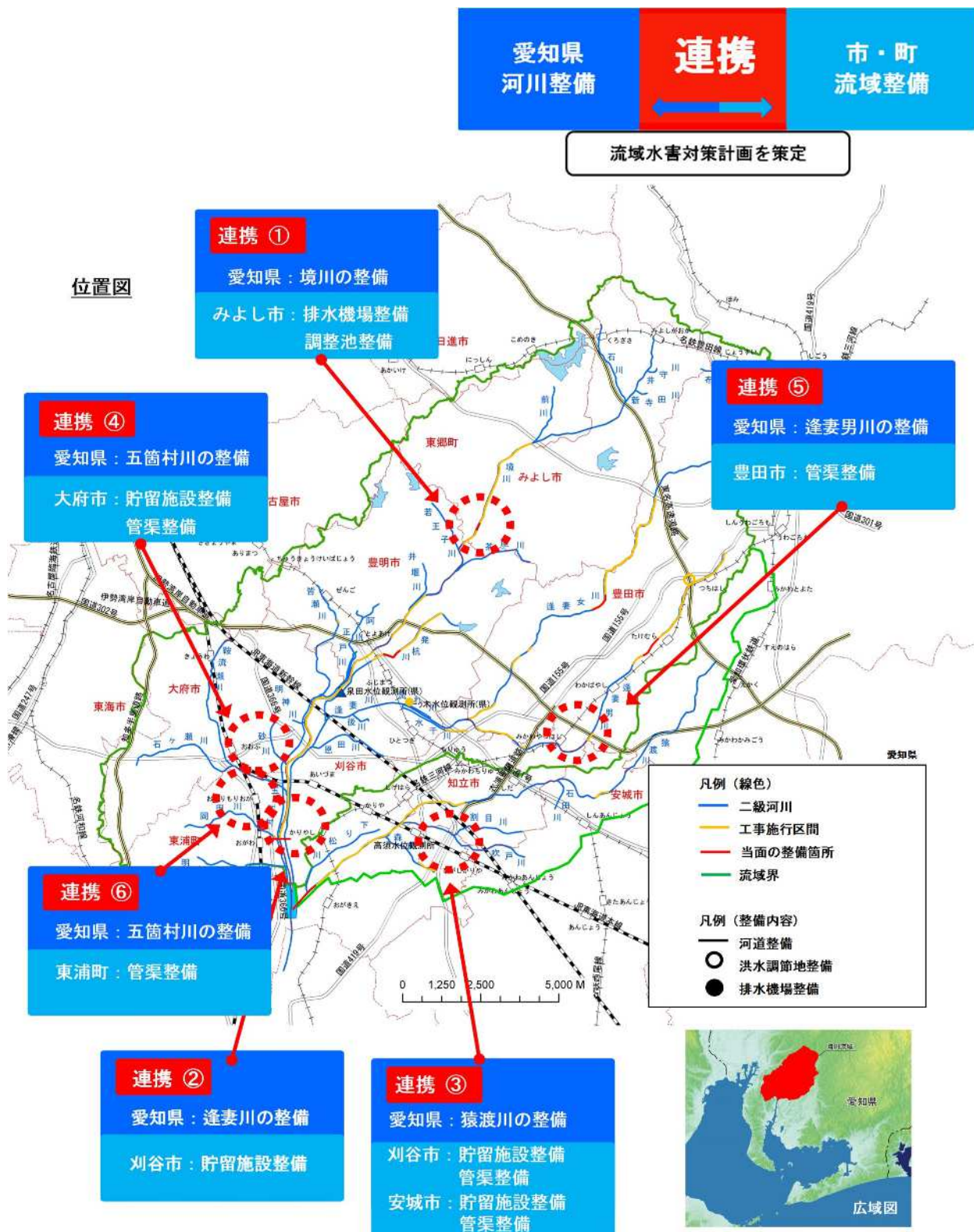
<令和4年度実施例>



準用河川茶屋川改修（みよし市）

(4) 連携事業

近年の浸水被害実績や想定浸水箇所を対象として、早期に有効な治水対策を着実に実施できるよう、各管理者の事業内容や時期を確認し、連携事業としてとりまとめている境川・猿渡川においては、下記の6つの連携事業として取り組んでいる。



#### 4 雨水貯留浸透施設の整備状況

(1) 地方公共団体等が実施した雨水貯留浸透対策の容量等

流域市町が計画策定以降に実施した貯留施設整備の進捗状況

	流域水害対策計画										進捗率 (容量ベース) D/A	
	計画容量 (m <sup>3</sup> ) A	貯留施設(m <sup>3</sup> )				浸透施設						
		計画策定(H26) からR3年度まで の対策実施容量 B	R4年度 対策実施容量 C	R4年度 総対策量 D=B+C	透水性舗装(m <sup>2</sup> )		透水トレンチ(m)		浸透枳(個)			
					R4年度 整備面積	R4年度 総整備面積	R4年度 整備延長	R4年度 総整備延長	R4年度 整備数	R4年度 総整備数		
名古屋市	7,100	7,170	0	7,170	0	0	0	0	0	0	101.0%	
刈谷市	86,900	112,957	176,000	288,957	1,060	37,592	0	0	27	222	332.5%	
豊田市	54,000	43,526	9,500	53,026	0	40,938	0	0	0	62	98.2%	
安城市	2,100	1,672	0	1,672	0	5,449	0	0	0	5	79.6%	
東海市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大府市	42,000	22,853	378	23,231	0	22,220	0	0	0	0	55.3%	
知立市	50,600	3,461	0	3,461	0	13,699	0	15	0	3	6.8%	
豊明市	98,300	4,768	0	4,768	84	7,921	0	0	0	0	4.9%	
日進市	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
みよし市	21,700	6,747	0	6,747	0	2,475	0	0	0	1	31.1%	
東郷町	35,900	14,365	0	14,365	716	12,259	0	0	0	10	40.0%	
東浦町	31,400	1,542	54	1,596	0	3,310	0	0	0	0	5.1%	
合計	431,000	219,061	185,932	404,993	1,860	145,863	0	15	27	303	94.0%	
進捗率が100%を超えている名古屋、刈谷市の総対策量を計画容量の値とした時(進捗率が100%とした時)の合計進捗率→											47.1%	

<令和4年度実施例>



岩ヶ池  
(176,000m<sup>3</sup> 刈谷市)

(2) 雨水浸透阻害行為の対策工事で設置された雨水貯留浸透施設の市町別容量等

特定都市河川浸水被害対策法第30条、第35条により、流域内で行う500㎡以上の開発等(雨水浸透阻害行為=雨水がしみこみにくくなる行為)には、許可等が必要となる。許可等の対象となり、雨水流出抑制対策(貯留施設、透水性舗装、浸透ます等)が行われた開発等は下表のとおり。

◆雨水浸透阻害行為許可件数及び対策施設 (30条・35条)

	令和4年度					平成24年度～令和4年度までの累計				
	許可件数 (30・35条)	対策施設				許可件数 (30・35条)	対策施設			
	件数	貯留 (m <sup>3</sup> )	透水性 舗装 (m <sup>2</sup> )	浸透 トレンチ (m)	浸透柵 (個)	件数	貯留 (m <sup>3</sup> )	透水性 舗装 (m <sup>2</sup> )	浸透 トレンチ (m)	浸透柵 (個)
名古屋市	2	194	150	0	0	19	804	1,780	73	19
豊明市	18	1,989	0	0	0	205	45,622	96,180	509	53
日進市	0	0	0	0	0	6	5,291	0	0	0
東郷町	5	90	845	87	10	135	46,596	37,646	8,533	92
東海市	0	0	0	0	0	12	2,410	99	151	24
東浦町	2	163	0	0	0	56	12,601	12,796	0	22
大府市	24	3,495	8,312	0	0	236	33,591	53,977	415	58
刈谷市	14	183	0	0	0	244	30,428	81,083	1,192	112
知立市	11	734	736	0	0	174	17,049	47,660	693	114
安城市	7	0	0	0	0	66	8,854	18,141	317	10
豊田市	31	20,445	4,276	67	0	242	74,087	62,516	994	138
みよし市	2	0	0	0	0	152	86,407	102,894	459	125
合計	116	27,294	14,319	154	10	1,547	363,739	514,773	13,337	767

◆許可件数内訳

(30条・35条・37条(変更))

	30条	35条	30条35条 合計	37条
令和4年度	108	8	116	131
～令和3年度	1350	66	1416	600
合計	1458	74	1532	731



これらの開発等には、この標識看板が設置されている。

◆雨水浸透阻害行為面積別件数及び面積 (30条・35条) (年度別)

	H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度	
	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )
500㎡～1,000㎡未満	38	27,876	59	43,292	64	49,519	60	44,545	55	44,400
1,000㎡以上	53	184,500	85	341,991	104	315,923	105	703,838	108	691,216
合計	91	212,376	144	385,283	168	365,442	165	748,383	163	735,616

	H29年度		H30年度		H31年度		令和2年度		令和3年度	
	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )
500㎡～1,000㎡未満	66	44,698	62	47,437	49	33,768	43	30,005	61	48,037
1,000㎡以上	108	476,006	115	609,688	128	722,284	118	647,816	92	346,820
合計	174	520,704	177	657,125	177	756,052	161	677,821	153	394,857

	令和4年度	
	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )
500㎡～1,000㎡未満	42	33,619
1,000㎡以上	74	438,949
合計	116	472,567

合計	
許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )
599	447,195
1,090	5,479,032
1,689	5,926,227

(3) 開発に伴い地方公共団体の条例・要綱に基づく指導等により設置された雨水貯留浸透施設の容量等

	R4年度				計画策定(H26)からR4年度末までの実績			
	貯留施設	浸透施設			貯留施設	浸透施設		
		透水性舗装	透水トレンチ	浸透枘		透水性舗装	透水トレンチ	浸透枘
(m3)	(m2)	(m)	(個)	(m3)	(m2)	(m)	(個)	
名古屋市	0	0	0	0	366	9,572	34	24
刈谷市	3	0	0	0	68	8,645	5	17
豊田市	2	533	0	0	8	533	27	1
安城市	0	0	0	0	32	3,851	0	3
東海市	0	0	0	0	1,577	0	0	0
大府市	1	0	0	0	71	0	7	9
知立市	0	190	0	0	2,640	16,020	45	19
豊明市	2	0	0	0	6,604	4,322	173	43
日進市	0	0	0	0	0	0	0	0
みよし市	0	0	0	0	6,351	10,722	104	12
東郷町	0	0	0	0	0	0	0	0
東浦町	2	0	0	1	14	139	20	6
合計	9	723	0	1	17,731	53,804	414	134

## 5 保全調整池の指定

### (1) 保全調整池とは

特定都市河川浸水被害対策法第44条に基づき、これまでに流域内に設置された100<sup>3</sup>以上の防災調整池328基(約115万<sup>3</sup>)を保全調整池として順次指定し、その機能の保全に取り組んでいる。令和4年度までの指定状況は下表のとおり。

	既存調整池		条例等により保全		保全調整池 指定候補(案)		保全調整池 (~R4指定)		容量比 指定率
	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	
名古屋市	-	-	2	3,437	-	-	-	-	-
刈谷市	43	100,365	-	-	43	100,365	30	101,446	101.1%
豊田市	99	227,013	-	-	99	227,013	28	47,918	21.1%
安城市	10	59,056	8	54,363	2	4,693	3	4,818	102.7%
東海市	1	175	-	-	1	175	1	175	100.0%
大府市	66	190,167	-	-	66	190,167	32	106,056	55.8%
知立市	19	52,851	-	-	19	52,851	17	51,075	96.6%
豊明市	23	123,306	-	-	23	123,306	14	39,569	32.1%
日進市	1	1,428	-	-	1	1,428	0	0	0.0%
みよし市	31	229,760	-	-	31	229,760	25	137,587	59.9%
東郷町	14	24,466	-	-	14	24,466	8	17,531	71.7%
東浦町	21	142,630	-	-	21	142,630	7	23,954	16.8%
合計	328	1,151,217	10	57,800	320	1,096,854	165	530,129	48.3%

### (2) 令和4年度の指定状況

令和4年度に指定は無かった。なお、近年の指定告示状況は下表のとおり。

		保全調整池 指定候補(案)		H30.3.23 指定告示		H31.3.31 指定告示		R3.3.19 指定告示		R4.2.25 指定告示		合計(R4年度末時点)	
		件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)
名古屋市告示	名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県告示	刈谷市	43	100,365	3	3,553	3	6,885	1	4,472	1	20,294	30	101,446
豊田市告示	豊田市	99	227,013	0	0	0	0	0	0	0	0	28	47,918
愛知県告示	安城市	2	4,693	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4,818
	東海市	1	175	0	0	0	0	0	0	0	0	1	175
	大府市	66	190,167	0	0	0	0	0	0	0	0	32	106,056
	知立市	19	52,851	0	0	5	9,626	0	0	3	8,502	17	51,075
	豊明市	23	123,306	0	0	0	0	0	0	0	0	14	39,569
	日進市	1	1,428	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	みよし市	31	229,760	0	0	0	0	0	0	0	0	25	137,587
	東郷町	14	24,466	0	0	0	0	0	0	0	0	8	17,531
	東浦町	21	142,630	1	3,552	0	0	0	0	0	0	7	23,954
合計		320	1,096,854	4	7,105	8	16,511	1	4,472	4	28,796	165	530,129

### ○年度別指定状況

		保全調整池 指定候補(案)		H25.3.8 指定告示		H26.3.25 指定告示		H26.4.22 指定告示		H27.4.10 指定告示		H27.10.6 指定告示		H28.3.4 指定告示		H30.3.23 指定告示		H31.3.31 指定告示		R3.3.19 指定告示		R4.2.25 指定告示		合計(R4年度末時点)	
		件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)	件数 (件)	容量 ( <sup>3</sup> m)
名古屋市告示	名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県告示	刈谷市	43	100,365	15	40,415	0	0	0	0	4	10,916	2	6,883	1	8,028	3	3,553	3	6,885	1	4,472	1	20,294	30	101,446
豊田市告示	豊田市	99	227,013	4	4,376	10	8,877	0	0	14	34,665	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	47,918
愛知県告示	安城市	2	4,693	3	4,818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4,818
	東海市	1	175	1	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	175
	大府市	66	190,167	11	27,438	0	0	19	77,091	0	0	2	1,527	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	106,056
	知立市	19	52,851	1	891	0	0	0	0	6	23,743	0	0	2	8,313	0	0	5	9,626	0	0	3	8,502	17	51,075
	豊明市	23	123,306	10	32,613	0	0	1	918	2	582	0	0	1	5,456	0	0	0	0	0	0	0	0	14	39,569
	日進市	1	1,428	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	みよし市	31	229,760	16	118,750	0	0	8	17,391	1	1,446	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	137,587
	東郷町	14	24,466	2	2,896	0	0	0	0	2	5,756	0	0	4	8,879	0	0	0	0	0	0	0	0	8	17,531
	東浦町	21	142,630	6	20,402	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3,552	0	0	0	0	0	0	0	7	23,954
合計		320	1,096,854	69	252,774	10	8,877	28	95,400	29	77,108	4	8,410	8	30,676	4	7,105	8	16,511	1	4,472	4	28,796	165	530,129

## 6 保全するため池の確認状況

### (1) 保全するため池とは

境川・猿渡川流域水害対策計画では、流域に存在するため池の内、275箇所を保全するため池としてその治水効果を見込んでいる。また、ため池が利水容量を失う場合や埋め立て等について、その情報を収集し、保全する施策を協議会で報告することとしている。

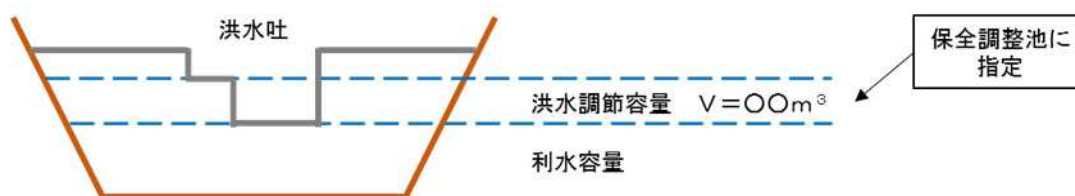
### (2) 保全状況の確認方法について

#### ① 保全調整池に指定

利水容量を失ったため池や洪水調節容量が付加されているため池については、保全調整池に指定して保全を図る。

(利水容量があるため池については、指定時に農地部局の意見を聴く。)

※ため池の保全調整池の指定イメージ



#### ② 改修等の実施に合わせて保全状況を確認

保全するため池については、定期的に保全状況を現地で確認することが望ましいが、毎年全てのため池を確認することは実務上困難であるため、耐震対策や老朽化対策などの改修予定があるため池において、その保全状況及び改修による貯留効果への影響を確認する。保全状況を確認できたため池については、事務局で取りまとめ、協議会へ報告する。

また、貯留効果の減少等河川への影響が懸念される改修予定がある場合は、代替案の検討の可能性などについて別途調整を行う。

#### 【確認事項】

- ・ 工事内容
- ・ 洪水吐の改築
- ・ 満水面積の変化
- ・ 治水機能の確認



(3)保全するため池の確認状況について

平成 29 年度からため池の保全状況を確認しており、令和 4 年度までに 47 か所のため池を確認している。なお、令和 4 年度に保全が確認できたため池と、令和 5 年度に確認を予定しているため池は次のとおり。

○令和 4 年度に保全状況が確認できたため池・・・25 箇所

刈谷市 : 岩ヶ池、花池、牛池、馬池、草野池  
豊田市 : <sup>2月ごろ</sup>池、和田ヶ池、孫目池、阿知和池、本地池、米田池  
大府市 : 長草大池、奥池、惣左エ門上池、口無池、宝池  
豊明市 : 勅使池、長間地池、道池、洞窪洞池  
みよし市 : <sup>4月ごろ</sup>池、多羅釜池、後田池、百々池、四井池

○令和 5 年度に保全を確認する予定のため池・・・16 箇所

刈谷市 : 草野池  
豊田市 : 孫目池、本地池、阿知和池、米田池  
大府市 : 奥池、口無池、鴨池、辰池  
豊明市 : 勅使池、長間地池、道池、皿池  
みよし市 : 多羅釜池、後田池、四井池

## 7 排水調整の実施状況

境川・猿渡川流域において、現在の河川の整備水準を上回る洪水に見舞われた際、外水氾濫による沿川の甚大な浸水被害の発生を回避し、人的被害の防止並びに財産及び経済的被害を軽減することを目的として、令和2年6月に境川流域総合治水対策協議会において「境川流域排水調整要綱」を作成し、運用している。

<令和4年度の運用状況>

令和4年度は、排水調整は実施していない。

河川名	排水機場名	発令状況（令和4年度）	
		準備水位到達情報	停止水位到達情報
境川	—	—	—
逢妻川	—	—	—
五箇村川	—	—	—
猿渡川	—	—	—

<令和4年度の排水量変更>

令和3年6月に運用を開始した『「境川流域排水調整要綱対象排水機」の排水量変更に係る事務手続きについて』に基づき、対象排水機の排水量を変更する際には、①着工前、②供用開始前のタイミングで協議会に報告することとしている。

なお、令和4年度は、着手前、供用開始前ともに報告数は0件であった。

## 8 浸水被害拡大防止対策の状況

(1) 都市洪水想定区域図（旧法第32条）の公表状況

河川の氾濫により浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間を公表している。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
境川	24時間総雨量 760mm (想定最大規模)	令和2年 4月	・愛知県建設局河川課 Web サイト ( <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuisotei-03.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuisotei-03.html</a> ) ・県河川課、関係建設事務所での縦覧
逢妻川	24時間総雨量 765mm (想定最大規模)	令和2年 4月	
猿渡川	24時間総雨量 822mm (想定最大規模)	令和2年 4月	

※水防法による浸水想定区域図を都市洪水想定区域図としている。

(2) 境川・猿渡川流域浸水予想図の公表状況

河川の氾濫（破堤、溢水、越水）により浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間等を公表している。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
境川	24時間総雨量 760mm (想定最大規模)	令和2年 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県建設局河川課 Web サイト (<a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuiyoso-05.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuiyoso-05.html</a>)</li> <li>・県河川課、関係建設事務所での縦覧</li> </ul>
逢妻川	24時間総雨量 765mm (想定最大規模)	令和2年 4月	

(3) 都市浸水想定区域図（旧法第32条）の公表状況

内水氾濫により浸水が想定される区域、水深を公表している。

対象市町	降雨規模 (年超過確率)	公表日	閲覧方法
名古屋市、刈谷市、 豊田市、大府市 みよし市、東浦町	1時間 63mm (1/10)	平成26年 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・境川・猿渡川流域水害対策協議会 Web サイト (<a href="https://www.pref.aichi.jp/site/ryuikichisui/sakaigawa-toshi.html">https://www.pref.aichi.jp/site/ryuikichisui/sakaigawa-toshi.html</a>)</li> <li>・各市役所、町役場 Web サイト</li> <li>・各市役所、町役場での縦覧</li> </ul>
日進市	1時間 57mm (1/7)	平成26年 7月	
安城市、東海市、 知立市、豊明市、 東郷町	1時間 52mm (1/5)	平成26年 7月	

(4) 洪水ハザードマップ等の作成状況

市町名	当初 公表年月	最新 公表年月
名古屋市	平成14年7月	令和4年6月
刈谷市	平成14年10月	令和3年4月
豊田市	平成16年3月	令和3年3月
安城市	平成19年4月	令和2年10月
東海市	—	—
大府市	平成21年3月	平成31年3月
知立市	平成22年3月	令和4年3月
豊明市	平成16年1月	令和4年3月
日進市	令和2年6月	令和2年6月
みよし市	平成15年3月	令和4年3月
東郷町	平成27年3月	令和2年3月
東浦町	平成22年3月	令和3年12月

※各市役所、町役場の Web サイトに掲載されている。

#### (5) 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置状況

愛知県では、平成29年度から「危機管理型水位計」の設置を順次進めており、境川・猿渡川水系では15河川21箇所、県全体では173箇所に設置している。また、令和元年度からは「簡易型河川監視カメラ」の設置も進めており、境川水系・猿渡川水系で4河川4箇所に設置している。令和4年度の設置は0件であった。

#### (6) その他のソフト対策

愛知県では、水害に備える取組を支援している（みずから守るプログラム）。

また、平成30年度からは、「みずから守るプログラム」の一環として、「地域の防災リーダーの育成」を進めている。

境川・猿渡川流域等での令和4年度の実施状況は下表のとおり。

支援事業名	令和4年度実施	平成23年度～令和4年度
手づくりハザードマップ作成	1件 ※刈谷市野田地区	13件 ※安城市相生町地区始め
大雨行動訓練	1件 ※安城市里山地区	7件 ※安城市緑町地区始め
地域防災リーダーの育成	0件	5件 ※刈谷市、豊田市、知立市、豊明市

## 9 まとめ

境川・猿渡川流域水害対策計画に基づき、令和4年度に実施された河川事業や下水道事業、さらには雨水貯留浸透施設の整備状況を取りまとめた結果、以下のとおり確実に進捗しており、地域の浸水被害軽減に寄与している。

今後も継続してモニタリングを実施しながら、事業の推進に取り組んでいく。

#### 主な進捗状況

##### ・河川事業

逢妻川洪水調節池の整備や境川背割堤の撤去が完了した。

##### ・下水道事業

大府市で約108haで雨水整備が行われた。

##### ・地方公共団体等が実施した雨水貯留浸透対策

刈谷市で貯留施設が176千m<sup>3</sup>整備された。